

KÄRCHER

makes a difference

KM 130/300 R Bp KM 130/300 R Bp Pack



**Register
your product**

www.kaercher.com/welcome

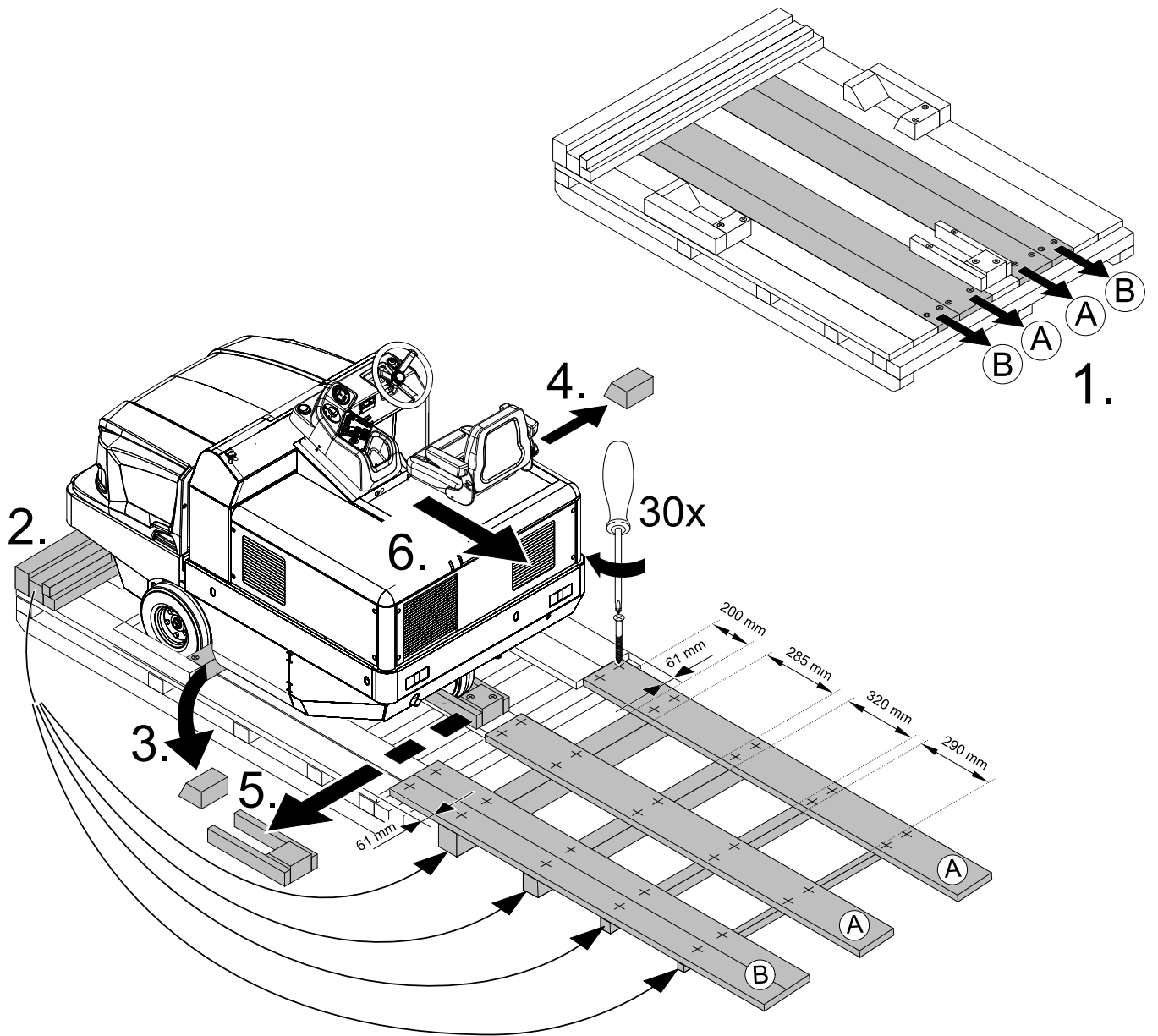


001


EAC



59641400 07/19



一般的な注意事項.....	1
環境保護	1
保証.....	1
アクセサリとスペアパーツ	1
取扱説明書のマーク.....	1
マシンの注意マーク.....	1
正しい使用方法.....	2
予測される誤使用.....	2
使用に適した路面.....	2
安全に関する注意事項.....	2
操作に関する安全上の注意事項.....	2
運転操作に関する安全情報	2
バッテリー駆動機器の安全に関する注意事項...A	2
ハイダンプでの廃棄.....	3
保護ルーフ.....	3
機器の輸送に関する安全情報.....	3
メンテナンスとお手入れ	3
機能.....	3
持ち上げについて.....	3
操作・機能要素.....	4
スーパの図解..	4
操作部分.....	4
スイッチパネル.....	4
マルチメーター	4
起動の前に.....	5
キャブの折りたたみ.....	5
パーキングブレーキのロック／解除..	5
エンジンが起動しない場合.....	5
スタートアップ.....	5
一般的な注意事項.....	5
点検・整備作業.....	5
スタートアップの前に.....	5
バッテリーに関する	5
安全上の注意.....	5
バッテリーを充電する...	6
操作方法.....	6
運転席の調整..	6
モード選択...	6
本機の起動...	6
マシンを動かす.....	6
清掃モード.....	6
ダストコンテナでの廃棄	7
電源を切る..	7
運搬時.....	7
保管.....	7
シャットダウン.....	7
お手入れとメンテナンス.....	7
一般的な注意事項.....	7
清掃.....	7
メンテナンス感覚..	7
メンテナンス作業.....	7
トラブルシューティング.....	10
テクニカルデータ.....	11



 この取扱説明書は、使用開始前に必ずお読みになり、遵守してください。また、後日使用される場合や次の所有者のために保管してください。

一般的な注意事項

開梱時に輸送中の破損を指摘された場合は、販売店にお知らせください。

- 本機の警告板や情報板には、安全な操作のための重要な指示が記載されています。
- 操作説明書に記載されている情報だけでなく、すべての法定安全規則および事故防止規則を遵守してください。

環境保護

	包装材はリサイクル可能です。包装材は家庭ゴミに出さず、再利用に出してください。
	古い電化製品にはリサイクルできる貴重な材料が含まれています。古い家電製品は、適切にリサイクルできるように手配してください。古くなった家電製品は、適切な回収システムを使って処分してください。
バッテリー、オイル、燃料、および類似の物質は、環境に放出しないでください。これらの物質は、適切な回収システムを介して廃棄してください。	

保証

各国の販売会社が発行する保証規定が適用されます。当社は、保証期間内におけるお客様の機器の潜在的な故障を、その故障が材料または製造上の欠陥に起因する場合に限り、無償で修理いたします。保証請求の際は、お買い上げの販売店または最寄りの認定カスタマーサービスセンターにご連絡ください。その際、購入証明書をご提出ください。

アクセサリとスペアパーツ

△ 危険
危険を避けるため、すべての修理とスペアパーツの交換は、認定されたカスタマーサービス担当者のみが行うことができます。

付属品やスペアパーツは、メーカーが承認したもののみを使用してください。純正アクセサリと純正スペアパーツを使用することで、本製品を安全で故障のない状態で使用することができます。

取扱説明書のマーク

- △ 危険**
大けがや死亡につながるような差し迫った危険への警告。
- △ 警告**
重傷または死亡につながる危険の可能性のあることへの警告。
- △ 注意**
軽傷や物損につながる可能性のある危険な状況への注意。
- 注意**
物的損害につながる可能性のある危険な状況への注意。

マシンの注意マーク

	高温の表面による火傷の危険性があります。作業を始める前に、排気が十分冷えていることを確認してください。
	作業中は、必ず適切な手袋を使用してください。
	車体部品に挟まれて圧迫される危険性があります。
	可動部でけがをするおそれがあります。中に手を入れないでください。
	火災のおそれがあります。燃えているものを掃除機で吸い込まないでください。
	チェーンピックアップクレーンポイント
	ジャッキポイント
	ゴミ箱を上げた状態で走行した場合の最大地盤沈下量。
	進行方向の勾配は14%を超えてはいけません。
	ブラシの回転方向に注意。

	電流に十分注意してください。
	指示内容に注意してください。
	ゆっくり操縦してください。
	操作説明書をよく読んで、動かしてください。
	破損のおそれがあります。 ダストフィルターを洗い流さないでください。

正しい使用方法

このスイーパーは、業務用床面清掃用で、例えば次のような分野で使用されません。

- 駐車場
- 製造工場
- 倉庫
- ホテル
- 荷物置き場
- 歩道

- 本機は屋内だけでなく、屋外にあるゴミも掃けるように設計されたスイーパーです。
- 使用前に正常な状態であること、安全に動作することを確認する必要があります。そうでない場合は、使用しないでください。
- このスイーパーは、この取扱説明書の指示に従ってのみ使用してください。
- 本機を改造しないでください。
- 操作説明書で指定された路面の種類に対応しています。

本機は、当社または当社の認定代理店が承認した路面でのみ使用することができます。

- 一般的に以下のことが適用されます。可燃性の高い物質は、この機器に近づけないでください（爆発・火災の危険性）。

予測される誤使用

- ➔ 爆発性液体、可燃性ガス、希釈されていない酸や溶剤は絶対に吸引しないでください。（ガソリン、シンナー、暖房用オイルなど、吸引する空気と接触すると爆発性のガスや混合物を発生させる可能性のある液体等。）また、アセトン、原液の酸や溶剤も、機械の材料に害を及ぼす可能性があるため、絶対に吸引しないでください。

- ➔ 反応性の金属粉（アルミニウム、マグネシウム、亜鉛など）は、強アルカリ性または強酸性の洗剤と接触すると爆発性のガスが発生するため、絶対に吸い込まないでください。
- ➔ 燃えているもの、光っているものを吸い込まないでください。
- ➔ 本機は、有害物質の清掃には適していません。
- ➔ 本機は、危険な場所で使用または保管しないでください。
- ➔ 2人以上の乗車は絶対にしないでください。
- ➔ この機器を使用して、物を押ししたり引いたり、運搬したりすることは絶対にしないでください。

使用に適した路面

- アスファルト
- 工業用地
- コンクリート
- 敷石

安全に関する注意事項

操作に関する安全上の注意事項

- ➔ クリアランスと沿面距離を確保するため、海拔2000m以上では使用しないでください。
- ➔ -使用前に正常な状態であること、安全に動作することを確認する必要があります。そうでない場合は、使用しないでください。
- ➔ 本機を危険区域（例：充填所）で使用する場合、対応する安全規定を遵守する必要があります。本機を危険な場所で使用しないでください。

△ 危険

けがの恐れあり

- ➔ 作業者が落下物にぶつかる可能のある場所では、保護ルーフのない機器を使用しないでください。
- ➔ 作業者は本製品を適切に使用しなければなりません。地域の状況を考慮し、第三者、特に子供に配慮して本製品を使用しなければなりません。自動車の運転に適用されるすべての安全指示、規則および規制を守ることが重要です。作業を始める前に、作業者はすべての保護装置が適切に設置され、正しく機能することを確認する必要があります。

- ➔ 人やその所有物との事故については、本機の作業者が責任を負うものとします。

- ➔ 作業者は体にフィットした服を装着し、丈夫な靴を履き、ゆったりとした服装は避けてください。
- ➔ 始動前に周囲の状況を確認してください（例：子供）。十分な視界を確保してください。
- ➔ エンジンがかかっている間は、絶対に機械を放置しないでください。作業者は、エンジンが停止し、本機が不用意に動かないように保護され、キーが取り外されたときのみ、本機から離れるようにしてください。
- ➔ 使用しないときは、不正使用を避けるため、キーを取り外してください。
- ➔ 本機は、本機の取り扱いを指導された人、本機の操作に関する資格と専門知識を証明された人、または本機の取り扱いを明確に指定された人だけが使用することができます。
- ➔ 本製品は、身体的、感覚的、精神的能力が限られている人、経験やスキルが不足している人（子供を含む）が使用することを意図していません。該当する人は、安全管理担当者が同行して監督しているか、本製品の使用に関する正確な指示を受けていない限り、使用できません。
- ➔ お子様の本機で遊ばないように、必ず保護者の監視のもとで行ってください。

注意

破損のおそれがあります。ストラップ、ひも、ワイヤーなどは、ブラシローラーに巻きつくことがあるので、清掃しないでください。

運転操作に関する安全情報

△ 危険

けがのおそれがあります。地面を走行する前に、その安定性を確認してください。

△ 危険

事故、怪我の危険性があります。勾配が高すぎると転倒の危険性があります。

-進行方向の勾配は14%を超えてはなりません。

-高速でカーブを曲がる時は、転倒する危険があります。（特に左カーブ）

- コーナリング時はゆっくり走行してください。不安定な地面では転倒の危険があります。

- 本機は健全な表面でのみ使用してください。

過度な横揺れは転倒する危険性があります。

進行方向に対して垂直な方向の勾配は10%を超えないようにしてください。

バッテリー駆動機器の安全に関する注意事項

Note: 保証請求は、ケルヒャーが推奨するバッテリーと充電器を使用した場合のみ受け付けます。

- 電池メーカーおよび充電器メーカーの指示に必ず従ってください。バッテリーの取り扱いおよび廃棄に関する法令上の要求事項に従ってください。

- 放電した状態で放置せず、できるだけ早く充電してください。
- クリープ状態を避けるため、電池は常に清潔で乾燥した状態に保ってください。電池を保護し、金属粉などの不純物と接触しないようにしてください。
- バッテリーの上に工具などを置かないでください。ショートして爆発する危険があります。
- バッテリーやバッテリー充電室の周辺では、裸火での作業や火花、煙を発生させないでください。爆発の危険があります。
- 駆動モーターなど高温の部分には触れないでください。
- バッテリー液の取り扱いには十分注意してください。それぞれの安全に関する指示にしたがってください。
- 使用済み電池は、各自治体のガイドラインに従い、環境に配慮した方法で廃棄してください。

- 電気系統の作業をするときは、必ずバッテリーを取り外してください。
- まずマイナス側の端子を外し、次にプラス側の端子を外します。再接続は逆の手順で行います。プラス端子を先に接続し、次にマイナス端子を接続します。
- 水道のホースや高圧の高圧洗浄で掃除しないでください（損傷の危険性があります）。
- メンテナンス作業は、認定されたカスタマーサービス拠点、または各安全規則を熟知したこの分野の専門家によってのみ実施してください。
- 市販のメンテナンス用品については、各地域の安全規則を遵守してください。
- 作業中は、必ず適切な手袋を使用してください。

ハイダンプでの廃棄

- **危険** 怪我をする危険性があります
- ハイダンプでの廃棄する場合は、タンクを完全に持ち上げて固定してください。
- 周りの安全を確認してから廃棄してください。

保護ルーフ

注意事項

保護ルーフ（オプション）は、落下物からドライバーを保護します。ただし、横転防止効果はありません。

- 保護ルーフが破損していないか、毎日確認してください。
- 保護ルーフが破損した場合は、保護ルーフ全体を交換してください。
- 保護ルーフの改造や、ケルヒャーが承認した以外のアクセサリー等の取り付けは、保護ルーフの機能を制限する可能性がありますので、絶対にしないでください。

機器の輸送に関する安全情報

- トレーラーや車両で運搬する際は、装置の正味重量（運搬重量）を守ってください。
- 持ち運ぶときは、バッテリープラグを抜いて、製品をしっかりと固定してください。

メンテナンスとお手入れ

- 本機の清掃やメンテナンス作業、部品の交換、他の機能への切り替えを行う前に、まず本機の電源を切り、キーを取り外してください。
- トラクションバッテリー搭載機器のサービスおよびメンテナンス作業を行う場合、バッテリーの絶縁ポイント（バッテリープラグ）を介して、機器の電気系統からバッテリーを切り離す必要があります。

機能

スウィーパーは、スウィープショベルの原理で動作します。

- 回転するローラーブラシがゴミを直接タンクに移動させます。
- サイドブラシは、路面の角やエッジを清掃し、汚れやゴミをメインブラシ側に移動させます。
- 微細な塵はダストフィルターを経由して吸い込まれます。

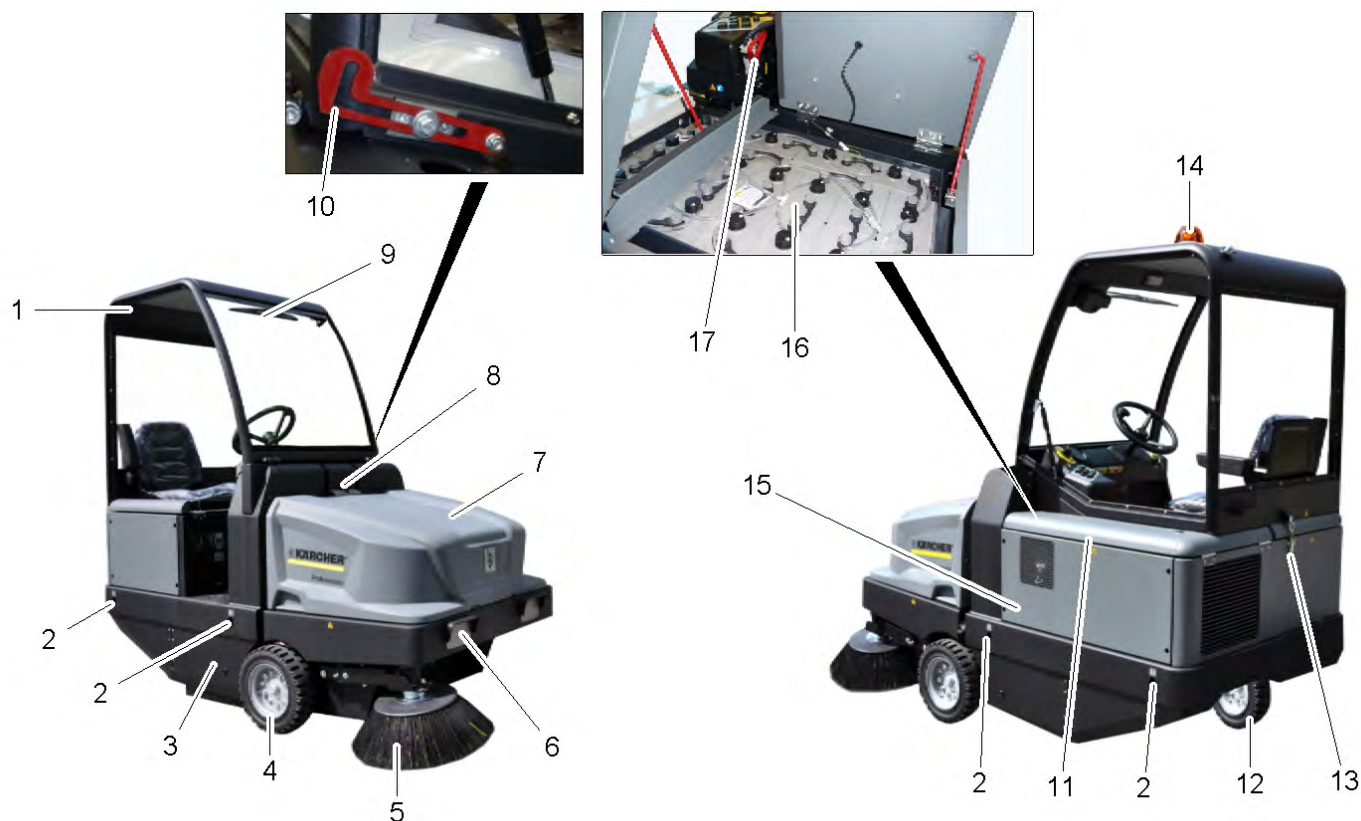
持ち上げについて

⚠ 危険

怪我の、損傷の危険性があります。本機を積み込む際は、重量に注意してください。

重量(バッテリー無し)	840 kg*
重量(バッテリーあり)	1300 kg*
*アップグレードキットを装着した場合は、それぞれ重量が増加します。	

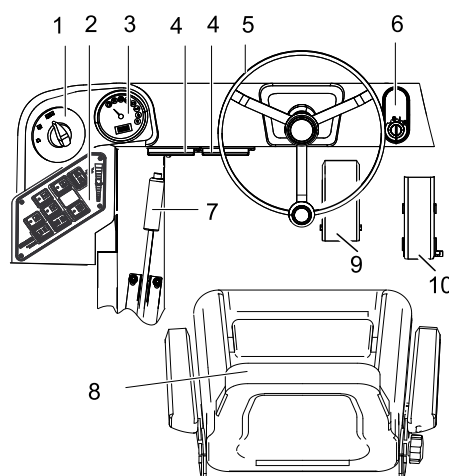
- フォークリフトは使わないでください。
- 器具の積み込みには、適切な傾斜路やクレーンを使用してください。
- スロープを使用する場合は、高さや角度等に注意してください。
- パレットで納品される場合は、付属の板で荷下ろし用のスロープを作る必要があります。この手順については、2ページ目（カバーの内側）に記載されています。スロープに使う板は、固定してずれないようにしてください。



スイーパーの図解

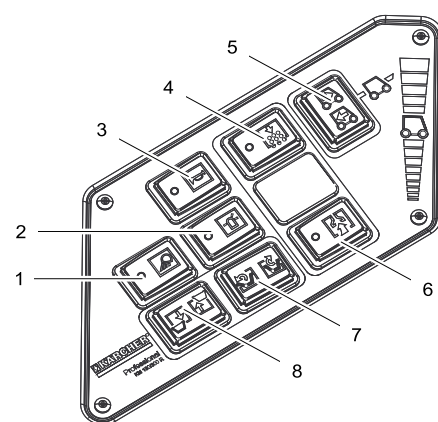
- 1 保護ルーフ/キャビン(オプション品)
- 2 吊り上げポイント(4点)
- 3 メインブラシ確認扉
- 4 前輪
- 5 サイドブラシ
- 6 作業灯 (オプション品)
- 7 ダストコンテナ
- 8 コンテナカバー
- 9 保護ルーフ/ワイパー (オプション品)
- 10 キャブロックレバー
- 11 エンジンカバー
- 12 後輪
- 13 キャブロック
- 14 回転
- 15 メインブラシ調節(写真無し)
- 16 バッテリーセット
(KM 130/300 R Bp パックのみ同梱)
- 17 バッテリーソケット

操作部分



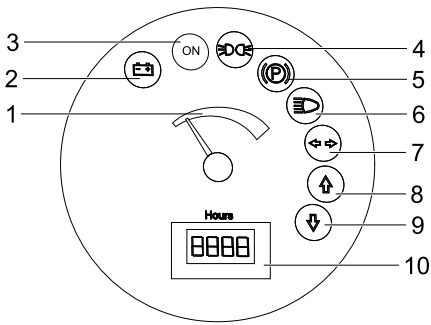
- 1 プログラムスイッチ
- 2 スイッチパネル
- 3 マルチメーター
- 4 ヒューズボックス
- 5 ハンドル
- 6 キースイッチ
キースイッチ 0: 停止
キースイッチ 1: 運転
キースイッチ 2: 始動
- 7 サイドブレーキ
- 8 座席(シートスイッチ付き)
- 9 ブレーキペダル
- 10 アクセルペダル

スイッチパネル



- 1 作業灯 オン/オフ (オプション品)
- 2 回転灯オン/オフ
- 3 ホーン
- 4 チリ落とし
- 5 走行スイッチ
- 6 パキューム
- 7 コンテナ開閉
- 8 コンテナ昇降

マルチメーター



- 1 バッテリー容量
- 2 バッテリー制御ランプ
- 3 コントロールランプの動作状態
- 4 ライト
- 5 点灯しません。
- 6 点灯しません。
- 7 ウィンカー
- 8 前進
- 9 後進
- 10 作業時間

起動の前に

キャブの折りたたみ

作業を行うために、最初にキャブ（オプション）を折りたたむ必要がある場合があります。

Note: キャブの傾斜は、車両が平坦な地面にいるとき（±5°）にのみ行う必要があります。

- キャブのロックを開ける。
- ロックレバーがカチッと音がするまで、キャブを上に戻します。



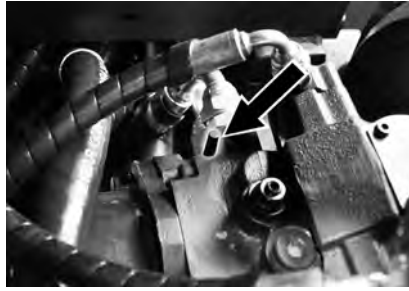
- キャブを下げる前にロックレバーを解除してください。

パーキングブレーキのロック／解除

- パーキングブレーキを緩め、同時にブレーキペダルを踏みます。
- パーキングブレーキを作動させ、同時にブレーキペダルを踏みます。

エンジンが起動しない場合

- エンジンカバーを開けます。
- 油圧ポンプのフリーホイールレバーを横に90°回転させます。



注意

長距離を移動しないでください。
時速10km以下で移動してください。

- 移動後、フリーホイールレバーを再び折りたたみます。

スタートアップ

一般的な注意事項

- スーパーを平らな場所に停める。
- イグニッションキーを外す。
- パーキングブレーキをロックする。

点検・整備作業

業務開始前

- バッテリーの充電状態を確認し、必要に応じて充電してください（「バッテリー充電」の章を参照）
- メインブラシとサイドブラシの摩耗やゴミの巻きつきを確認する。
- 車輪にゴミが絡まっていないか確認してください。
- すべての制御要素の機能をチェックします。
- 機器に損傷がないかを確認します。
- フィルタークリーニングボタンでフィルターを掃除します。

Note: 「お手入れとメンテナンス」の項をご覧ください。

スタートアップの前に

バッテリーに関する安全上の注意

バッテリーを取り扱う際は、以下の注意事項をお守りください。

	バッテリー、使用説明書、車両操作説明書に記載されている指示を守ってください。
	保護メガネを装着してください。
	子供を近づけないでください。
	爆発の危険性があります。
	火気類を近づけたり、喫煙は禁止です。
	苛性化する危険性があります。
	応急処置
	警告事項
	廃棄処分
	バッテリーをゴミ箱に捨てないでください
	危険な電流にご注意ください

△ 危険

爆発の危険性があります。
バッテリーの端子極やセルコネクタの上に工具などを置かないでください。

△ 危険

傷害の危険性があります。
傷口が鉛と接触しないようにしてください。バッテリーを扱った後は、必ず手をつけてください。

△ 危険

火災や爆発の危険性があります。

- 喫煙、裸火の使用は固くお断りします。
- 充電中は爆発性の高いガスが発生するため、充電する部屋は換気を良くしてください。

△ 危険

苛性化する危険性

- 酸が目に入ったり、皮膚に触れたりした場合は、多量の水で十分に洗い流してください。
- すぐに医師に相談してください。
- 酸が衣服に付着した場合は、洗い流してください。

バッテリーを充電する

注意

試運転の前に、バッテリーを充電してください。

△ 危険

傷害の危険性があります。

バッテリーの取り扱いに関する安全規定を遵守してください。充電器の製造元が提供する指示を遵守してください。

メーカーによる付属の取扱説明書を読み、それに従ってください。適切な充電器のみを使用して充電してください。

充電中は爆発性の高いガスが発生するため、充電する部屋は換気を良くしてください。

△ 危険

やけどの危険性があります。

放電状態のバッテリーに水を加えると、酸が漏れることがあります。バッテリー液を取り扱う際は、保護メガネを使用し、安全に関する指示に従ってください。万一、酸が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに多量の水で洗い流してください。

注意

損傷の危険性があります。

バッテリーの充填には、蒸留水または脱塩水 (VDE 0510) のみを使用してください。いかなる物質（いわゆる性能向上剤）も添加しないでください。

推奨バッテリー、チャージャー

	品番
バッテリーパック 36 V, 360 Ah, (丈夫でローメンテナンス)	6.654-282.0
充電器 36 V, 50 A	6.654-283.0

*バッテリーパックが1つ必要です。

他のバッテリーや充電器の使用は推奨されませんので、ケルヒャーカスタマーサービスにご相談ください。

- 本体から電池のプラグを抜き、充電器のプラグに接続します。
- 16 Aの適切なソケットに充電器のプラグを接続すると、充電器は自動的に充電されます。
- 充電中は、必ずモーターカバーを開けておいてください。
- **Note:** 充電が完了したら、まず充電器を主電源から外し、次にバッテリーから外してください。

バッテリーの液面を確認し、必要であれば調整する

注意

バッテリーメーカーの指示を必ず守り、行動してください。

-バッテリーの充電状態を確認

バッテリーの容量が緑の表示。
バッテリーは充電されています。

- バッテリーの容量が黄色の表示。

バッテリーが半分ほど放電している状態です。

- バッテリーの容量が赤色表示。
ほとんど放電している状態です。清掃モードはまもなく自動的にオフになります。

- インジケータランプが赤く光る

電池が放電しています。清掃モードが自動的に終了します（バッテリーが充電されるまで時間集計はできません）。

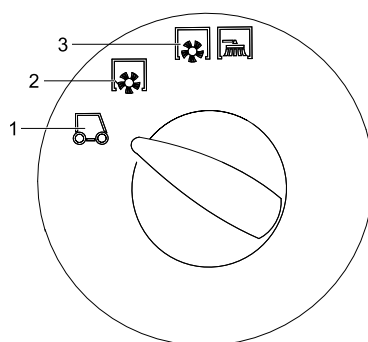
- 充電場所まで直接運転してください。途中の急勾配は避けてください。
- バッテリーを充電してください。

操作方法

運転席の調整

- シート調整レバーを外側に引きます。
- シートをスライドさせ、レバーを解除してロックします。
- シートを前後に動かし、シートが正しく固定されていることを確認します。

モード選択



- 1 移動モード
- 2 清掃モード(メインブラシ)
- 3 清掃モード(メインブラシとサイドブラシ)

本機の起動

Note: 本機にはシートコンタクトスイッチが装備されています。運転席が空くと、本機のスイッチが切れます。

- 運転席に座る。
- プログラムスイッチを移動モードにします。
- サイドブレーキをロックする。
- イグニッションキーをイグニッションスイッチに差し込む。
- イグニッションキーを "I" の位置まで回してください。これで本機は運転可能な状態になりました。
- イグニッションキーを "II" の位置まで回してください。これで本機を運転することができます。

Note: 電池容量の表示は、約10秒後に実際の充電状態を表示します。

マシンを動かす

- プログラムスイッチを移動モードに合わせます。
- ブレーキペダルを踏む、そのまま離します。
- サイドブレーキを解除します。
- 走行スイッチを前進にします。
- アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。

リバースドライブ

△ 危険

バック走行中は、周りに人がいないことを確認してください。

注意

破損の危険性 方向転換スイッチは、機械が静止しているときのみ使用してください。

- 走行スイッチを「後進」にする。
- アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。
- 移動時

- ペダルの踏み込みで速度調節します。
- 油圧システムを損傷する恐れがあるので、ペダルを急に踏まないでください。
ブレーキ

→ アクセルペダルを離すと、自動的にブレーキがかかり、停止します。

Note: ブレーキペダルを踏むことで、停止をサポートすることができます。

障害物を乗り越える時

高さ70mm以下の固定された障害物の上を走行してください。

- 前方へゆっくりと移動しながら走行してください。
- これらの障害物は、適切なスロープを使用して乗り越えてください。

清掃モード

注意

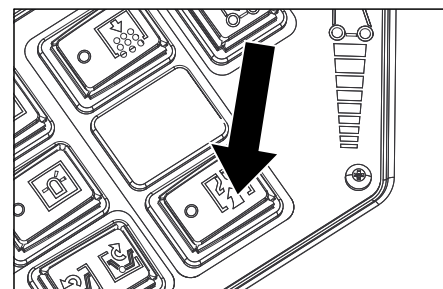
梱包材の切れ端や針金などが絡まることで、ブラシが故障してしまう可能性があります。

Note: ゴミの状況や現場によって速度を調節してください。

Note: 運転中は、定期的にチリ落としスイッチを起動してください。

乾いた路面の清掃

- バキュームスイッチを起動します。



- プログラムスイッチの清掃モードを選択します。

- 壁際の清掃には再度ブラシを起動してください。

濡れた路面の清掃

- バキュームをオフにしてください。
- プログラムスイッチの清掃モードを選択します。
- 壁際の清掃には再度ブラシを起動してください

ダストコンテナでの廃棄

△ 危険

けがの危険 廃棄時は、旋回範囲内に人や動物がいないことを確認するよう注意してください。

△ 危険

破損の危険 コンテナ内はメンテナンス以外で入り込んだりしないでください。駆動部に物が干渉しないか注意してください。

△ 危険

転倒の危険 平地で操作してください。



- プログラムスイッチを移動モードに選択します。
- ダストコンテナを上昇させます。
- ゴミ捨て場までゆっくり移動します。
- サイドブレーキを起動します。
- コンテナの開閉スイッチを操作し、廃棄を開始します。
- ダストコンテナの中身が無くなったのを確認し、コンテナを閉じます。
- サイドブレーキを解除します。
- ゆっくりと安全な場所へ移動します。
- ダストコンテナを下げます。

電源を切る

- ブレーキペダルを踏み続けます。
- サイドブレーキを起動します。
- イグニッションキーを"0"に回し、取り外してください。

運搬時

△ 危険

けがや破損のおそれ

運搬の際は、機器の重量を守ってください。

- サイドブレーキを起動し、キーを取外します。
- ラッシングポイント (4x) で、テンションベルト、ロープ、チェーンなどを使って本機を固定する。
- 本機の前輪をホイールロックで固定する。
- 車両で運搬する場合は、滑り止めや転倒防止のために、ガイド線に従って機器を固定してください。

保管

△ 危険

けがや破損のおそれ 保管の際は、機器の重量にご注意ください。

シャットダウン

スーパを長期間使用しない場合は、以下の点を守ってください。

- スーパを平らな場所に停める。
- プログラムスイッチを移動モードに設定します。
- キーを取外します。
- サイドブレーキを起動します。
- スーパの内側と外側を掃除します。
- 本機を安全で乾燥した場所に駐車してください。
- バッテリープラグを取り外す。
- バッテリーを充電し、約2カ月ごとに再充電してください。

お手入れとメンテナンス

一般的な注意事項

注意

破損のおそれがあります

フィルターを洗い流さないでください。

- 本機の清掃やメンテナンス作業、部品の交換、他の機能への切り替えを行う前に、まず本機の電源を切り、キーを抜き、電池プラグを取り外すか、バッテリーを抜いてください。
- メンテナンス作業は、認定されたカスタマーサービス拠点、または各安全規則を熟知したこの分野の専門家によってのみ実施されます。
- 業務用として使用される携帯機器は、VDE 0701に基づく安全検査の対象となります。

- スーパを平らな場所に停める。
- キーを取外します。
- サイドブレーキを起動します。

清掃

注意

損傷の危険 水ホースや高圧洗浄で器具を掃除しないでください。

内部の清掃

△ 危険

けがのそれ 防塵マスク、保護メガネを着用してください。

- 布で本体を拭いてください。
- ブロア等で除塵してください。

機器の外部清掃

- 中性洗剤を浸した布で、本体を拭いてください。

Note: 強力な洗浄剤を使用しないでください。

メンテナンス間隔

Note: 経過時間カウンターは、メンテナンス間隔のタイミングを表示します。

お客様によるメンテナンス

Note: 内部機構等のメンテナンスは、資格のある専門家が行う必要があります。必要であれば、ケルヒャーのサービスにお問い合わせください。

日々のメンテナンス

- スーパーローラーとサイドブラシの摩耗やベルトの巻きつきを確認する。
- すべてのモード時の機能を確認する。

→ 機器に損傷がないかを確認する。

週のメンテナンス。

- 油圧オイルクーラーを清掃する。
- 油圧ユニットを確認する。
- 油圧オイルのレベルを確認します。
- プレーキフルードの状態を確認する。
- パッドが摩耗していないか確認し、必要であれば交換する。
- 容器のふたを確認し、注油する。

摩耗に伴うメンテナンス

- シーリングを交換する。
- サイドシールの再調整または交換。

→ ローラーブラシを交換する。

→ サイドブラシを交換します。

Note: 詳細については、「メンテナンスメンテナンス作業」の項を参照ください。

カスタマーサービスによるメンテナンス

50運転時間後にメンテナンスが必要です。

→ サービスマニュアルにしたがって、最初の点検をしてください。

250運転時間後にメンテナンスが必要です。

→ サービスマニュアルにしたがって点検してもらう。

Note: 保証請求権を保護するため、保証期間中のすべてのサービスおよびメンテナンス作業は、メンテナンス冊子に基づき、ケルヒャーの認定カスタマーサービスが実施するものとします。

メンテナンス作業

準備

- スーパを平らな場所に停める。
- キーwば取り外す。
- サイドブレーキを起動する。

安全に関する一般的な注意事項

⚠ 危険

ケガの危険 廃棄物容器を上昇させるときは、必ず安全バーをかけてください。



- 1 固定ホルダー
 - 2 固定棒
- ダストコンテナを上昇し、固定ホルダーに固定棒を装着します。

電池の交換

セット単為でのみ交換可能です。交換は、訓練を受けた担当者が行ってください。

→ 重量が重いため、バッテリーの交換はクレーンを使って行う必要があります。

Note: 交換する前に、クロスストラットのネジを外す必要があります。



- バッテリーを取り外すときは、マイナス端子の電線を先に外してください。
- バッテリーセットの4つのアイレットにクレーンチェーンを固定し、バッテリーを慎重に持ち上げてください。

油圧オイルのレベルを確認し、油圧オイルを補充する。

注意事項

ダストコンテナを上昇させない。

→ エンジンカバーを開ける



- 1 油圧オイルタンク
 - 2 確認窓
 - 3 オイル注入口
 - 4 油圧オイルクーラー
 - 5 圧力計
- 確認窓で油圧オイルレベルを確認する。
- オイルレベルは、「MIN」と「MAX」マークの間でなければなりません。
 - 油面が「MIN」マークより下にある場合は、作動油を追加してください。

→ オイル注入口のキャップを緩める。

→ 充填部を清掃する。

→ 油圧オイルを補充する。

オイル：テクニカルデータを参照

→ オイル注入口のクローズングキャップを交換し、締め付けます。

注意事項

圧力計が油圧の上昇を示した場合、ケルヒャーカスタマーサービスにて油圧オイルフィルターを交換する必要があります。

油圧ユニットの点検

→ サイドブレーキを起動。

→ モーターを始動させる。

油圧ユニットのメンテナンス作業を行うことができるのは、ケルヒャーカスタマーサービスのみです。

→ すべての油圧ホースと接続部を点検し、漏れがないことを確認する。

メインブラシの確認

→ キーの位置をを"1"に合わせます。

→ ダストコンテナを上昇させます。

→ キーの位置をを"0"に合わせます

→ サイドブレーキを起動します。

→ ロウラーブラシからベルトやコードを取り外す。

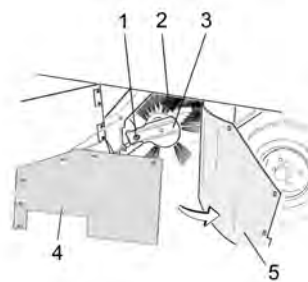
→ セーフティーバーを外す。

→ キーの位置をを"1"に合わせます。

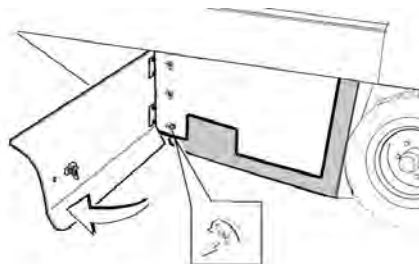
→ ダストコンテナを降ろします。

→ キーの位置をを"0"に合わせ、取外します。

→ **メインブラシを交換する**



- 1 ブラシ固定用ネジ
- 2 メインブラシ
- 3 ブラシ吸入口
- 4 サイドカバー用押さえ板
- 5 サイドカバー



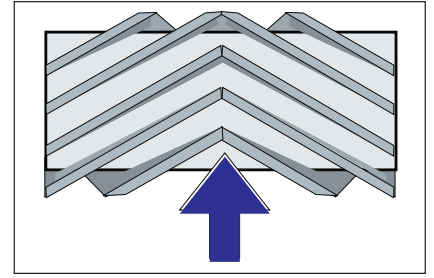
→ サイドカバーを鍵で開けます。

→ サイドカバー用押さえ板からウィングナットを外し、サイドカバー用押さえ板を取り外します。

→ サイドシールを裏返します。

→ ロウラーブラシ吸込口の固定ネジを外し、吸込口を外側に振ってください。

→ ロウラーブラシを引き出します。



ロウラーブラシの進行方向への取り付け位置（上面図）

Note: 新しいロウラーブラシを取り付ける際は、取付位置に注意してください。

→ 新しいブラシを取り付けます。ブラシのナットは、反対側のクランクの切り欠きに挿入してください。

Note: 新しいロウラーブラシを取り付けたら、ブラシを再調整する必要があります。

ブラシ位置の点検と調整

Note: ブラシが摩耗した場合は、無段階に調整できます。

→ タイヤの空気圧を確認する。

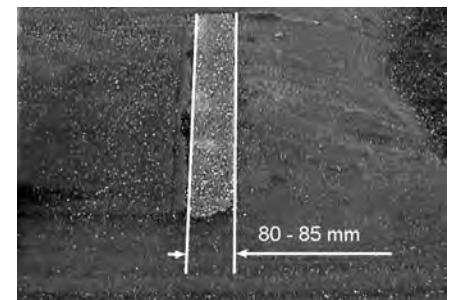
→ バキュームスイッチを切る。

→ 埃やチョークで覆われた滑らかな表面にスイーパーを走らせる。

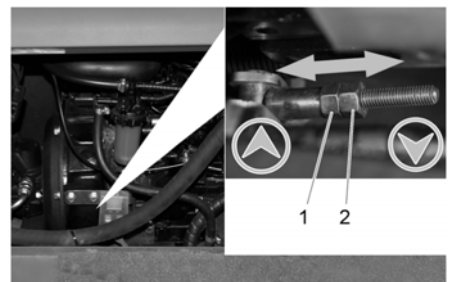
→ プログラムスイッチを清掃モードにします。

→ プログラムスイッチを移動モードにします。

→ マシンを後方に移動します。



幅80～85mmの均一な長方形が適したブラシ位置になります。

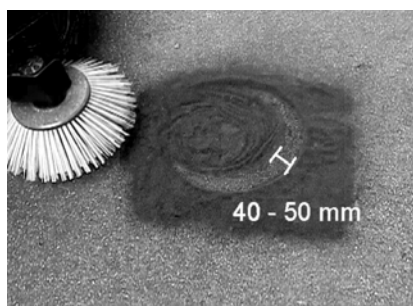


- 1 レーティングナット
- 2 カウンターナット

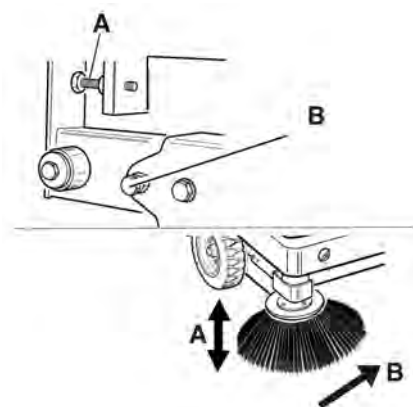
- サイドエンジンパネルを開ける。
- カウンターナットを緩める。
- ブラシ位置を調整する。
- カウンターナットを締め付けます。
- 清掃跡からブラシ位置を確認する

サイドブラシの位置の確認と調整

- サイドブラシを上げる
- 埃やチョークで覆われた滑らかで均一な表面にスイーパーを走らせる。
- 清掃モードでサイドブラシを起動する。
- サイドブラシを上げる
- プログラムスイッチを移動モードにします。
- マシンを後方に移動します。



40～50mmが適した清掃幅です。



- 2本の調整ネジで位置を設定します。
- サイドシールの調整**
- ダストコンテナを上昇させ、固定棒で固定します。

△ 危険

ケガの危険 ダストコンテナを上昇させるときは、必ず安全バーをかけてください。



1 固定ホルダー

2 固定棒

- 「ブラシの交換」の章にあるように、サイドカバーを開けてください。
- サイドカバー用押さえ板のウイングナット6個を外す。
- 前面押さえ板のナット3個 (SW13) を緩める。
- サイドシール (細長い穴) を床面に1～3mm程度まで押し付けます。
- サイドカバー用押さえ板を固定します。
- 反対側にも同じ手順を繰り返します。

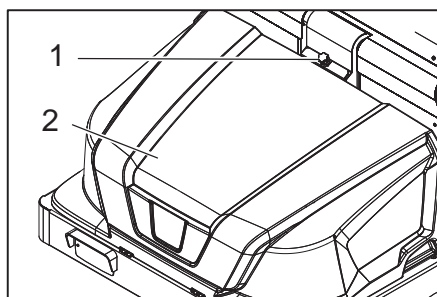
フィルターを手動で清掃する

- チリ落としで、フィルターを清掃する。

フィルターの交換

△ 危険

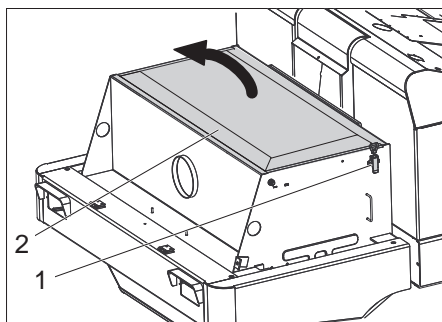
フィルターを交換する前に、ダストコンテナを空にしてください。フィルターの周囲で作業するときは、防塵マスクを着用してください。微粒子物質の取り扱いに関する安全規則を遵守してください。



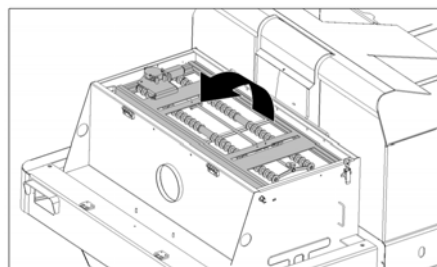
1 カバーのロック

2 カバー

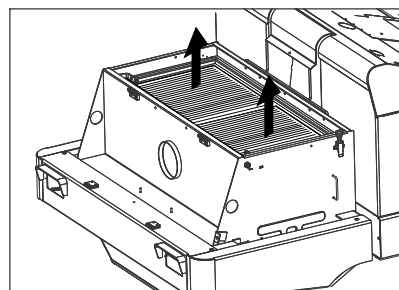
- カバーのロックを解除します。
- カバーを前面に倒します。



- フィルターカバーを前面に倒します。



- チリ落としを前面に倒します。



- フィルターを交換してください。

- フィルターカバーを閉じます。

ヘッドライトバルブの交換 (オプション)

- ヘッドランプのネジを外す。
- ヘッドランプを外し、プラグを抜きます。

Note: プラグの位置に注意してください。

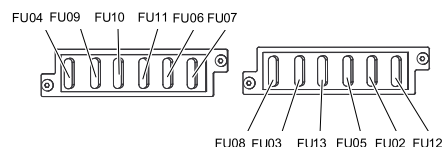
- ヘッドランプを分解する。
- ランプユニットが固定されていないため、ヘッドランプケーシングを分解し、水平に保持する。
- ブラケットのロックを解除し、電球を取り出します。
- 新しいバルブを挿入します。
- 逆の手順で再装着してください。

ウィンカーバルブの交換 (オプション)

Note: 電球を交換するために、方向指示器ランプのガラスをケーシングから取り出します。

ヒューズの交換

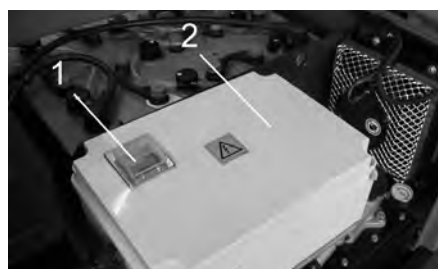
- ヒューズホルダーを開ける。



- ヒューズを確認する。
- 不良のヒューズを交換する。

Note: ヒューズFU01 (メインヒューズ) は、電子機器のケーシングにあります。ヒューズFU14、FU15、FU16は電子機器ケーシング内に配置されています。

- **注意:** ケースの開閉やヒューズの交換は、カスタマーサービスにのみご依頼ください



1 ヒューズ FU 01 (メインヒューズ)

2 電子機器ケース

FU 01	メインヒューズ	220 A
FU 02	シートスイッチ	3 A
FU 03	キャビン (オプション)	10 A
FU 04	走行方向切替スイッチ	5 A
FU 05	マルチディスプレイ	3 A
FU 06	油圧オイルクーラー	25 A

FU 07	Program selection switch	15 A
FU 08	Horn	10 A
FU 09	Left lighting	7,5 A
FU 10	Right lighting	7,5 A
FU 11	Working light	10 A
FU 12	Beacon lamp	5 A

FU 13	Vibrator system	10 A
FU 14	Motor	3 A
FU 15	Voltage converter	20 A
FU 16	Key switch	3 A

Note: Only use fuses with identical safety ratings.

トラブルシューティング

問題	対応
製品が駆動しない、またはゆっくりとしか駆動しない	運転席に座ると、シートコンタクトスイッチが作動します。
	トリガーヒューズFU01（電子ケーシング上）のスイッチを入れる。
	バッテリーを充電か交換する。
	サイドブレーキを解除する。
	タイヤやブラシに紐が引っかかっているか確認する。
	サービスに連絡する。
油圧系統の異音	作動油の補充
	サービスに連絡する。
ブラシの回転が遅い、または全く回転しない	ブラシに紐が引っかかっているか確認する。
	サービスに連絡する。
吸引力が弱い、または吸わない	フィルターを掃除する。
	サービスに連絡する。
ゴミが製品内部に溜まる	サイドシールを調整する
	バキュームを起動する
	フィルターを掃除する。
	フィルターワッシャーの交換
	サービスに連絡する。
ゴミを回収できない	ダストコンテナを空にする
	フィルターを掃除する。
	メインブラシを交換する。
	ブラシ位置の調整
	ダストコンテナのシールストリップを交換する
	ブラシのブロッキングを解除する
	サービスに連絡する。
コンテナが昇降しない	ヒューズを確認する。
	サービスに連絡する。
ダストコンテナの開閉が遅い、または動かない	サービスに連絡する。
油圧駆動部品の動作不良	サービスに連絡する。

テクニカルデータ

		KM 130/300 R Bp	KM 130/300 R Bp Pack
マシンデータ			
走行スピード(前進)	km/h	7	7
走行スピード(後進)	km/h	7	7
登坂応力 (max.)	--	14 %	14 %
清掃能力(メインブラシ)	m ² /h	7000	7000
清掃能力(メインブラシとサイドブラシ)	m ² /h	9100	9100
清掃幅(メインブラシ)	mm	1000	1000
清掃幅(メインブラシとサイドブラシ)	mm	1300	1300
防水、防滴	--	IPX 3	IPX 3
Usage duration with battery fully charged	h	2	2
電気系統			
バッテリー容量	V, Ah	--	36, 360
バッテリー重量	kg	--	460
油圧システム			
油圧システム全体の油量	l	25	25
油圧タンク内の油量	l	20,5	20,5
油種	--	HV 46	HV 46
ダストコンテナ			
最大ダンプ高さ	mm	1400	1400
コンテナ容量	l	300	300
メインブラシ			
ブラシ径	mm	300	300
ブラシ長さ	mm	1000	1000
速度	1/min	325	325
接地幅	mm	80	80
サイドブラシ			
サイドブラシ径	mm	600	600
速度 (連続)	1/min	61	61
タイヤ			
サイズ(前輪)	--	15-4,5 x 8	15-4,5 x 8
サイズ(後輪)	--	15-4,5 x 8	15-4,5 x 8
ブレーキ			
前輪	--	電気式	電気式
後輪	--	油圧式	油圧式
フィルターとバキューム			
種類	--	フラットフィルター	フラットフィルター
速度	1/min	2800	2800
フィルター面積	m ²	5,2	5,2
吸引能力	mbar	15,5	15,5
吸引風量	m ³ /h	800	800
バイブレーター方式	--	電気モーター	電気モーター
作業条件			
気温	°C	-5 and +40	-5 and +40
大気湿度	%	0 - 90	0 - 90
EN 60335-2-72 に従って決定された値			
ノイズ			
騒音値 L _{pA}	dB(A)	75	75
不確かさ K _{pA}	dB(A)	3	3

		KM 130/300 R Bp	KM 130/300 R Bp Pack
騒音値 $L_{WA} +$ 不確かさ K_{WA}	dB(A)	93	93
機械振動			
ハンドアーム振動値	m/s ²	2,5	2,5
座席	m/s ²	2,5	2,5
不確かさ K	m/s ²	0,1	0,1
寸法・重量			
長さ x 幅 x 他高さ	mm	2040x1330x1430	2040x1330x1430
右旋回半径	mm	1400	1400
左回転半径	mm	1400	1400
重量 (バッテリー装着時/非装着時)	kg	840/1300	840/1300
許容全重量	kg	1789	1789
前軸許容荷重	kg	897	897
後軸許容荷重	kg	892	892
技術的な変更がある場合があります。			


H. Jenner
Chairman of the Board of Management


S. Reiser
Director Regulatory Affairs & Certification

Documentation supervisor:
S. Reiser

Alfred Kärcher SE Co. KG
Alfred-Kärcher-Strasse 28-40
71364 Winnenden (Germany)
Tel.: +49 7195 14-0
Fax: +49 7195 14-2212

Winnenden, 2018/09/01





THANK YOU!
MERCI! DANKE! ¡GRACIAS!

▶ 延長保証について

品質に自信があるからこそその長期保証。
お客様が安心してお使い頂けるためのアフター
サービスを提供しています。
ユーザー登録をいただくと製品(アクセサリー、
パーツ、洗浄剤を除きます)の保証期間が2年に
延長されます。

※ご購入後 30 日以内に、当社ホームページから
ユーザー登録が必要です。
期間を過ぎてからの登録は対象外とさせて
いただきます。

製品の登録はこちらから



https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/registry.html

▶ 製品のご用命、仕様に関するお問い合わせ

業務用製品コールセンター

Tel:045-777-7410

FAX:045-777-7411

受付時間 :9:00 ~ 17:00 月曜~金曜日(祝日、当社休日を除く)

▶ 製品の故障、修理、技術に関するお問い合わせ

サービスフロント

お電話の際は事前に下記項目をご確認の上ご連絡ください。

①機種名 ②故障状況 ③保証書

TEL:0570-78-3140(ナビダイヤル)

受付時間 :9:00 ~ 17:00 月曜~金曜日(祝日、当社休日を除く)

ホームページからのお申し込み受付

<https://forms.gle/RzbPVHMdGowcGx598>



一般修理依頼フォーム(診断・見積)